

まちなか図書館(仮称)の整備に関する 説明会

平成30年2月24日、25日、
平成30年2月28日、3月1日

都市計画部 まちなか図書館整備推進室
教育部 図書館

豊橋市まちなか図書館（仮称）の整備について

1. 概要

豊橋市まちなか図書館（仮称）（以下、「まちなか図書館」という。）の整備は、平成25年度に策定した第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画の中核事業の一つに位置付けられ、多世代交流拠点であるこども未来館、文化・交流拠点である穂の国とよはし芸術劇場（プラット）に加え、中心市街地の魅力を高める新たなにぎわい拠点とするため、駅前大通二丁目地区の民間主導による市街地再開発事業により建設される再開発ビル東棟の2階の一部及び3階への導入を目指しています。

- 導入規模：約4,000㎡
- 蔵書数：10万冊程度
- 目標利用者数：年間50～70万人



2. まちなか図書館の基本理念、基本方針

まちなか図書館は、図書館が持つ可能性を最大限に発揮し、中心市街地の諸機能と連携した魅力ある施設としてにぎわいの創出を図るとともに、次代を見据え、豊橋のまちづくりを担う人材の育成を図る場を目指すこととし、基本理念、基本方針を以下のとおり定めています。

基本理念

**世界を広げ、
まちづくりに繋げる
“知と交流の創造拠点”**

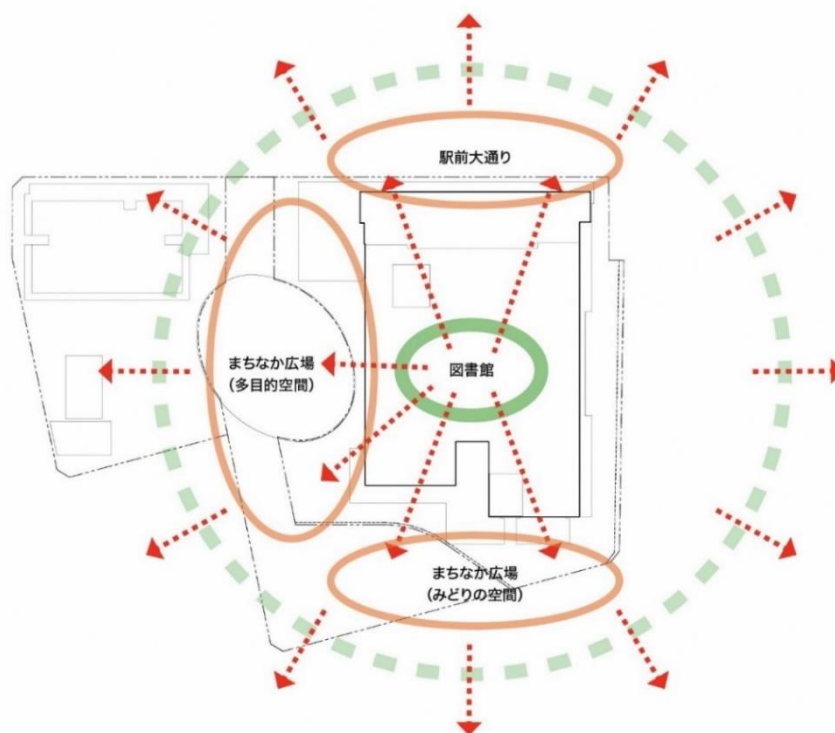
基本方針

- 1 新たな世界を発見し、創造する
- 2 交流、活動を通して、人と人との繋がる始点となる
- 3 気軽に立ち寄れ、心落ち着く居場所となる
- 4 再開発エリアや中心市街地の諸機能等と連携する
- 5 次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる

3. 施設コンセプト

Library to the City 街に広がる図書館

図書館を中心に北側の駅前大通り、西側のまちなか広場「多目的空間」及び、南側「みどりの空間」と図書館との繋がりを意識し、街に放射状に広がる図書館



4. これまでの取組

時 期	内 容
平成25年度	第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画を策定 同計画に、豊橋市まちなか図書館（仮称）整備事業を位置づけ
平成26年度	図書館の基本理念、基本方針等を整理した豊橋市まちなか図書館（仮称）整備基本計画を策定
平成27年度	図書館のサービス、施設整備、管理運営等の内容を整理した豊橋市まちなか図書館（仮称）実施計画を策定
平成28年度 ～29年度	再開発ビルの形状変更に伴い、平成28年度に予定していた図書館内装工事に係る基本設計業務を平成29年度に繰越し、実施計画の修正（形状変更に合わせて、図書館の空間レイアウト等の見直し）及び基本設計を実施

【参考】

豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業の概要

① 地区、事業名称、事業費等

地区の名称等	豊橋駅前大通二丁目地区 (豊橋市駅前大通二丁目32番1ほか)
事業の名称	東三河都市計画 豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業
施行者の名称	豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合
施行地区面積	約1.5ha
事業費	約220億円

② これまでの経過

時 期	内 容
平成27年 3月	都市計画決定
平成28年 3月	市街地再開発組合設立認可
平成28年 3月	事業計画認可
平成29年 9月	事業計画変更認可
平成29年12月	権利変換計画認可

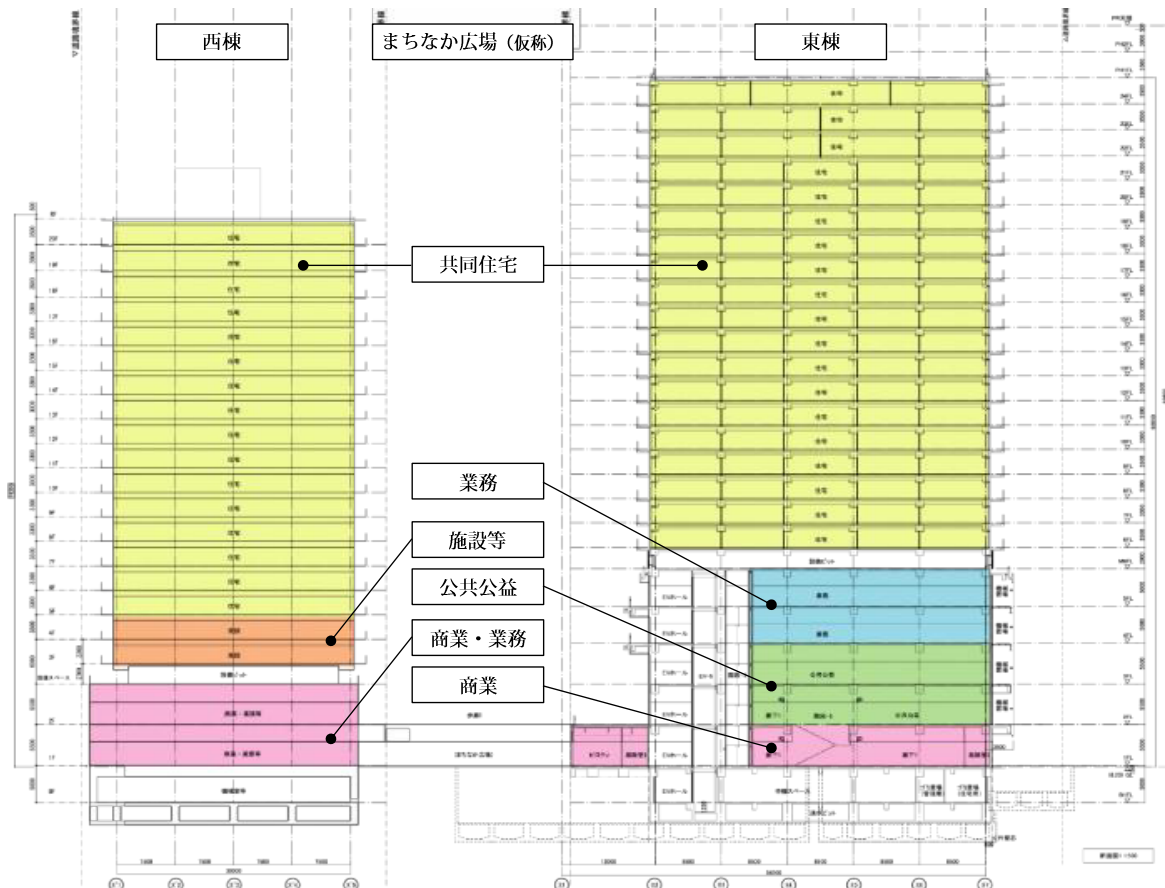
③ 事業施行期間 (予定)

事業施行期間	組合設立認可公告日(平成28年3月)～平成37年3月
工事期間	東 除却工事 平成30年 1月～平成30年10月 棟 建築工事 平成30年10月～平成33年 6月
	西 除却工事 平成33年 8月～平成34年 2月 棟 建築工事 平成34年 2月～平成36年 9月

④ 施設建築物の概要

区分	項目	変更前	変更後
東棟	建築敷地面積	4,996㎡	4,996㎡
	建築面積	約3,900㎡	約4,000㎡
	建築延面積	約35,895㎡	約33,700㎡
	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造及び一部鉄骨造
	規模	地下1階、地上18階建、塔屋1階付	地下1階、地上24階建、塔屋2階付
	主な導入機能	商業、業務、公共公益（まちなか図書館（仮称）等）、住宅（約140戸）、駐車場、駐輪場等	商業、業務、公共公益（まちなか図書館（仮称）等）、住宅（約130戸）、駐車場、駐輪場等
西棟	建築敷地面積	2,250㎡	2,250㎡
	建築面積	約1,600㎡	約1,680㎡
	建築延面積	約15,190㎡	約14,820㎡
	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造及び一部鉄骨造
	規模	地下1階、地上17階建、塔屋1階付	地下1階、地上20階建、塔屋1階付
	主な導入機能	商業、業務、施設等、住宅（約70戸）、駐車場、駐輪場等	商業、業務、施設等、住宅（約90戸）、駐車場、駐輪場等

[立面イメージ]



[駅前広場側から見た完成予想イメージ]



[水上ビル側から見た完成予想イメージ]



※ 再開発事業の概要は平成 29 年 8 月時点のものであり、今後変更される場合があります。

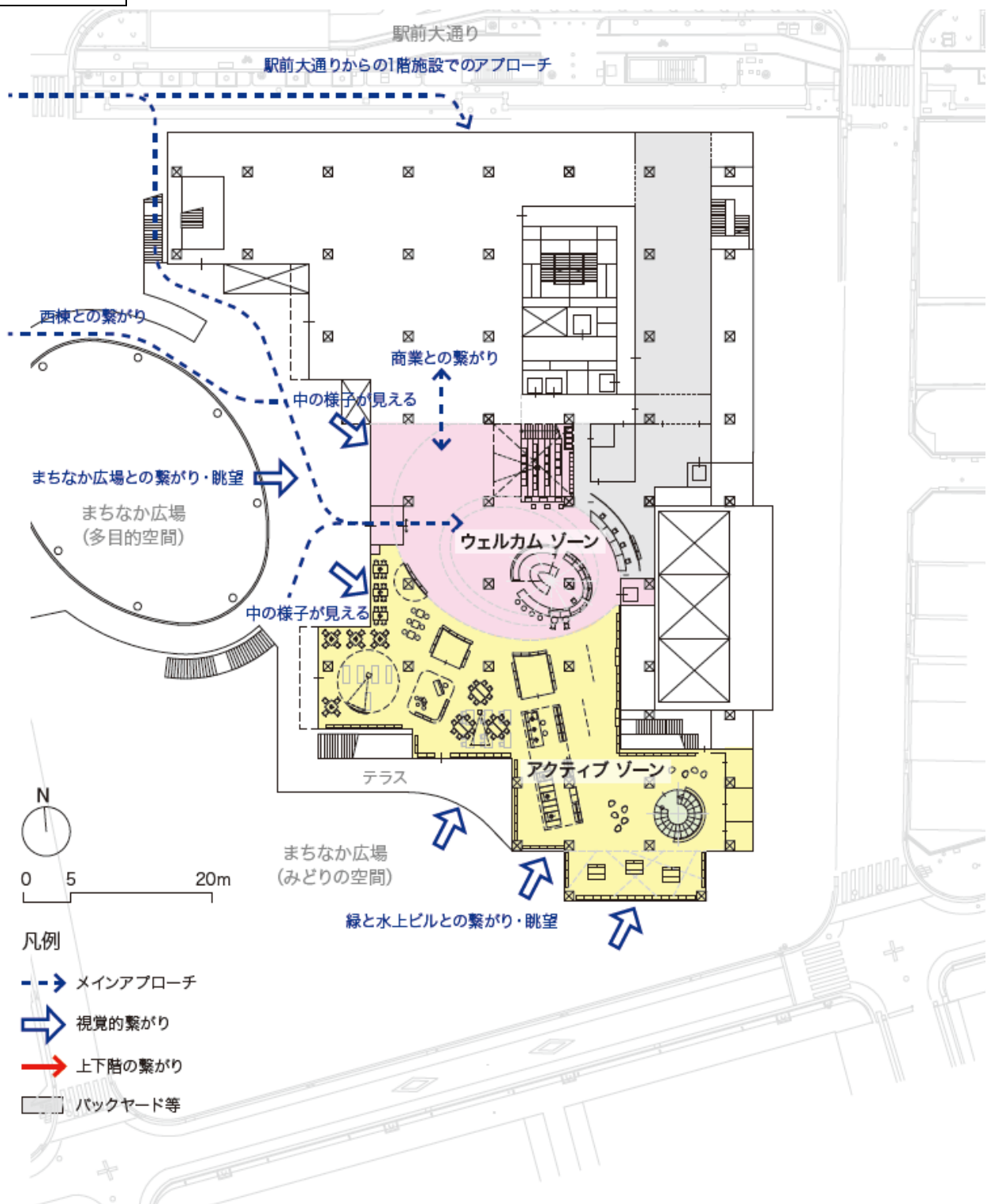
5. 空間レイアウト、デザインの検討

(1) 実施計画の修正（再開発ビルの建物形状の変更に伴うゾーニング等の見直し）

再開発ビルの形状変更によってまちなか図書館の導入を予定する2階、3階フロアの形状も大きく変更されたため、両フロアのゾーニングを見直しました。

【 修正前 】

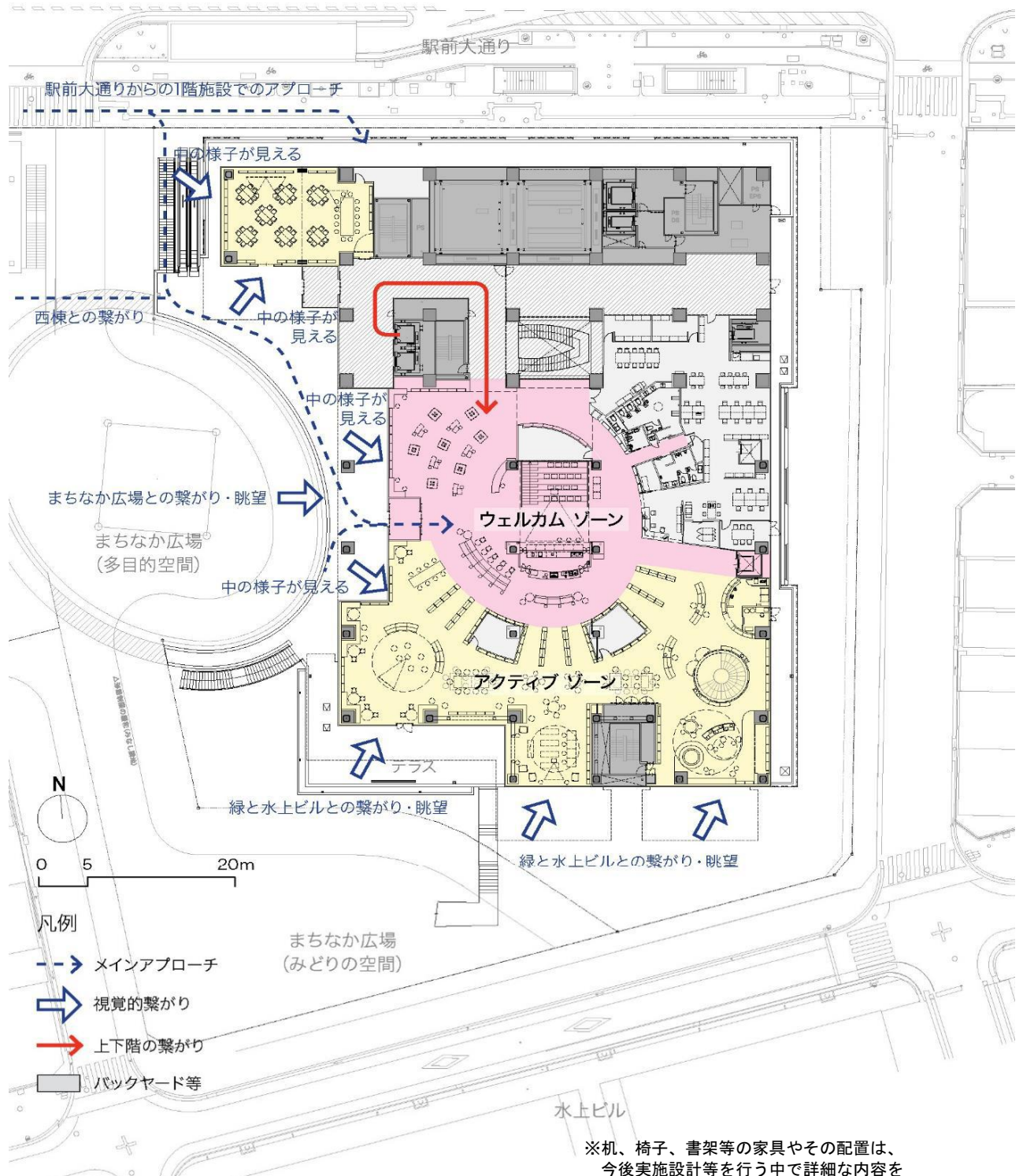
2 階



見直しにあたっては、フロアの形状が正方形に近くなったことで、「まちに広がる図書館」という施設コンセプトをより強く打ち出し、大階段を中心に放射線状に人が回遊することをイメージしたゾーニングとしています。

【 修正後 】

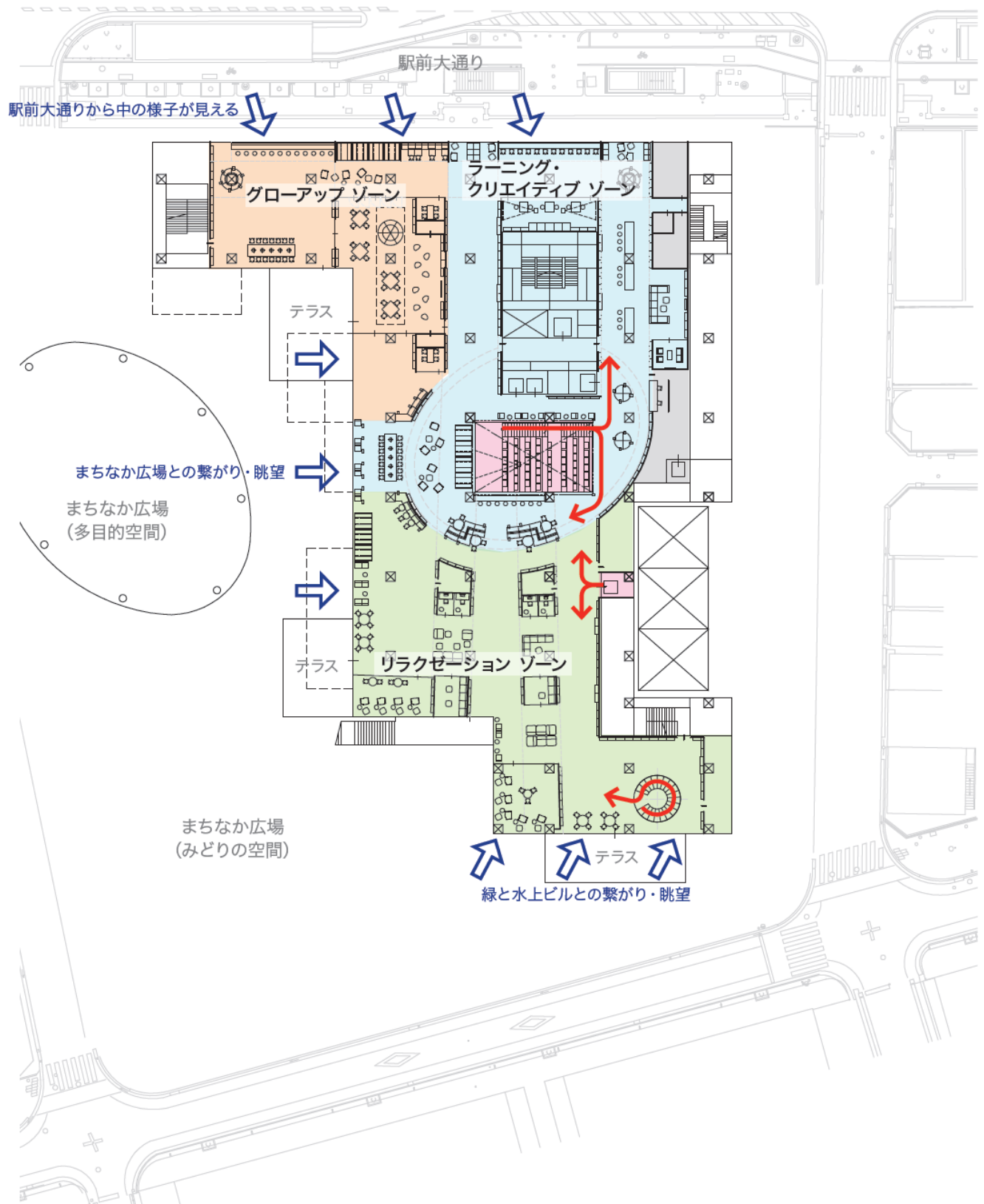
2 階



3階は、駅前大通りに面していたグローアップゾーンを日照条件の良い南東コーナーに配置し、中央の大階段により東西の空間が分離されることから、リラクゼーションゾーンをまちなか広場（仮称）に面して環境の良い西側に配置しました。

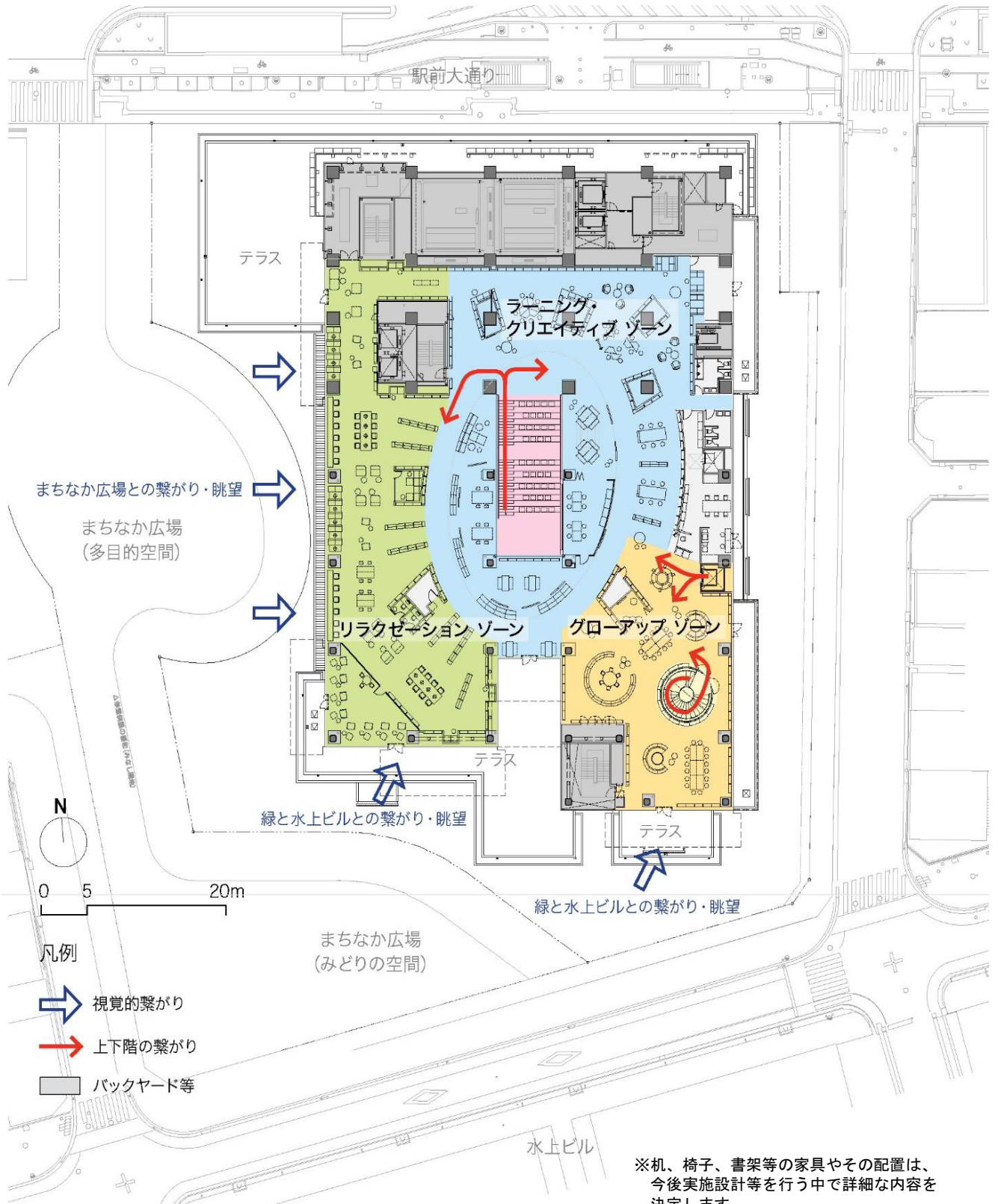
【 修正前 】

3 階



【 修正後 】

3 階



【参考】

B 1 階平面図

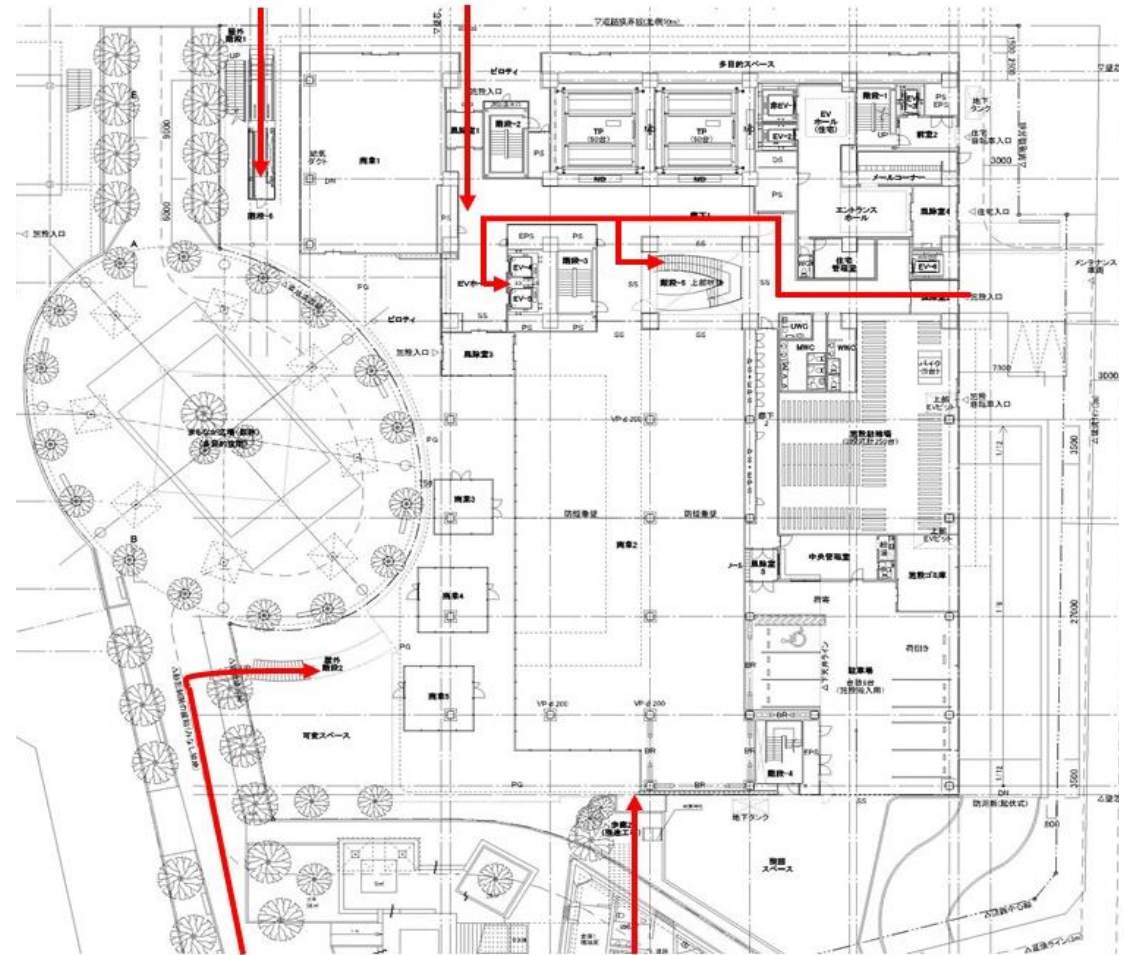
公共第一駐車場



水上ビル側地下

1 階平面図

駅前大通



水上ビル

(2) 基本設計

各ゾーンの計画コンセプト

◆ウェルカムゾーン

- まちなか広場や商業施設を訪れた市民が気軽に立ち寄り、待ち合わせや散歩の休憩に利用できるよう施設の入口付近にマガジンコーナー、カフェカウンターを配置
- フロア中央に、本施設のランドマークとなり、パブリックビューイングの場としても利用できる劇場席を計画
- マガジンコーナー、地域情報コーナー、カフェ、図書館カウンターをつなげる回遊性の高い円を描く動線を計画し、新たな知識に出会えるテーマ書架をこの動線上に配置

◆アクティブゾーン

- 活動をアピールできるように、エントランス、カフェスペースから見やすい位置に計画し、かつ、日照条件の良いビルの南側窓に面してゾーンを配置
- 多様な活動に対応できる4つの異なるスペースを計画し、それぞれのスペースで想定される活動が効果的に展開できるよう配置

◆グローアップゾーン

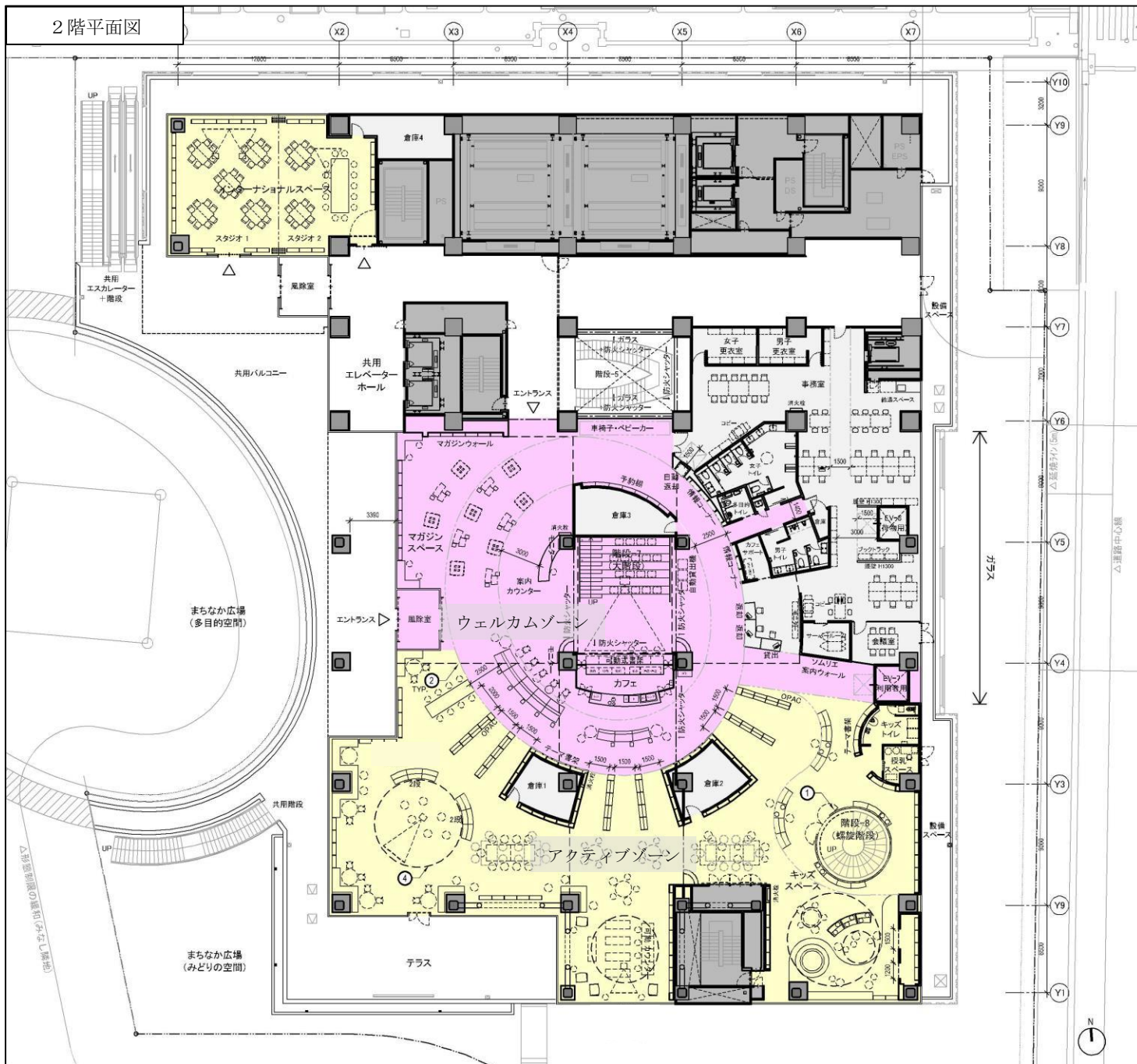
- 音を考慮して他のゾーンから距離を置き、日照条件の良い南東に配置
積極的にディスカッションを行えるよう、グループワークスペースを計画
- アクティブゾーンとの連携を考慮し、階段を設置

◆ラーニング・クリエイティブゾーン

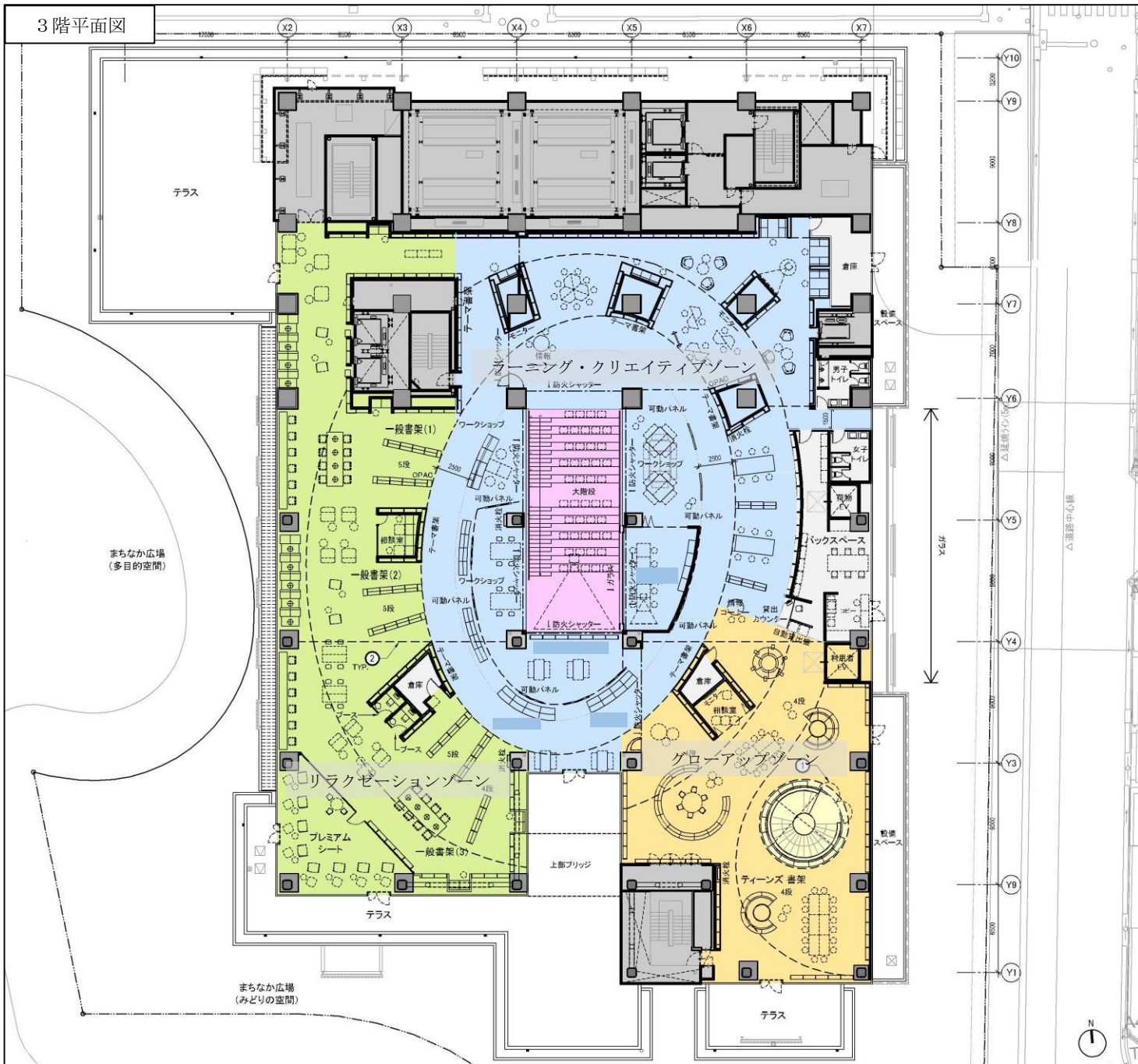
- まちなかの知識や技術を通して市民の交流の場となるように施設中央に配置し、かつ、多様な交流に対応できる、可動式の家具や間仕切りを計画
- 2階から活動が見えやすいようメーカーズ・ラボを中央吹抜けに面して配置

◆リラクゼーションゾーン

- 趣味に没頭できるように、一人席を開放的で明るいまちなか広場に面して配置
- 多様な読書体験が行えるように、ソファ、テーブル、カウンターと様々な閲覧席を配置
- 集中力を高め、緑を見ながらリラックスできる南西にプレミアムシートコーナーを配置



3階平面図



6. 整備スケジュール（予定）

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
まちなか 図書館	基本計画 策定 →	実施計画 策定 →		内装工事 基本設計 →		内装工事 実施設計 →	内装 工事 →	開 館
		プレ事業、人材の掘り起こし、人材育成・人的ネットワークの構築 ↓ 市民提案型の取組、市民主体の活動 →						
再開 発 事 業	都市計画 決定	組合設立 認可		権利変換 計画認可				
				↓ 東街区解体着工				東棟竣工

7. 今後の事業費（見込み）

まちなか図書館の整備にかかる費用については、再開発ビルの保留床購入費（土地を含む。）、内装工事費、備品購入費等を合わせて約35億円を見込んでいます。

なお、整備を進めるにあたっては、社会資本整備総合交付金（都市再構築戦略事業 基準補助率1/2）の活用を想定しています。

この金額は、再開発ビルの実施設計及びまちなか図書館の基本設計作成時のものであり、今後まちなか図書館の実施設計等を行うなかでより詳細な金額を検証していきます。